

おごおり 議会だより

No.186

令和3年5月号



九州大会を優勝し
いざ！全国大会へ！ **元気！笑顔！No.1！**

Cheer Dance Team DearR

『Wing』

- | | |
|---------|--------------------------|
| P 2～5 | 議会の動き |
| P 6～11 | 市政を問う・一般質問10人 |
| P 12～13 | 常任委員会審査報告、議案の主な内容 |
| P 14～15 | 議案審議結果一覧、賛否が分かれた案件 |
| P 16 | 人事案件、6月定例会の会期日程(予定)、編集後記 |

発行責任 福岡県小郡市議会

第1回
定例会

令和3年度一般会計予算 骨格予算として過去最大

207億4500万円

市長選挙のため骨格予算、政策予算は6月以降の補正で

市議会が市の予算をチェック！

「私たちの税金どんなコトに使われるの？その予算本当に必要なの？」委員会ではそんな疑問を解消するために、議員から担当課へ様々な質問を投げかけています。



当初予算に対する説明

審査冒頭に令和3年度当初予算の概要について、市より説明を受けました。

市長選挙が予定されているため、義務的な経費を中心とした「骨格予算」にて編成しています。「政策的な経費」については極力見送っています。年度当初から着手しなければならぬ事業については、当初予算に計上しています。

令和3年度は、年々増加する扶助費等社会保障関連経費の増加に加え、新型コロナウイルス感染症対策費、大原中学校大規模改造事業及び、収入の大きな見込み財源である、ふるさと納税推進事業費（積立金含む）の増加などにより予算規模が大幅に増加しています。

予算審査特別委員会
委員間討議

① 待機児童問題

これまで待機児童対策として、施設整備や保育士確保の施策など、様々な取り組みにより努力されていることは理解できます。施設整備においては、ほぼ全ての児童を受け入れることができる体制が整いつつあるというのですが、保育士不足により児童を受け入れることができず、定員を充たすことができていない園もあります。

待機児童の解消に向けて更なる方策を早急に講じ、保育士を早急に確保するために事業者への適切な指導及び連携をこれまで以上に行っていただくよう市に対して強く求めました。

② 予算に対する取り組み

今回の審査において、予算計上された事業について、どのような目標を持つて取り組むのか。また、予算の根拠等が十分に説明・答弁されない場面がありました。

市が予算計上される事業等については、これまでの経過等を踏まえた上で具体的な目標を目指して取り組むこと

が重要です。審査におきましては、それらを踏まえた説明及び答弁を行うよう市に対して強く求めました。

審査報告

令和3年度小郡市一般会計並びに特別会計予算など7議案については、全員で構成する予算審査特別委員会を設置し、3月2日、3日、4日の3日間にわたり慎重に審査しました。

委員間討議を経て採決を行った結果、令和3年度当初予算については、全て原案のとおり可決されました。

近年、頻繁に起こりうる豪雨に對しての備え、また年々増加する社会保障費に加えて、新型コロナウイルス感染症対策費など、市の予算は骨格予算でありながら200億円を超える過去最高額となりました。

議会として、予算が効率よく公平に市民の福祉向上と地域活性化、そしてアフターコロナを見据えた事業となっているか審査し、提言をしていきます。

第5次小郡市総合振興計画の変更について 1年間延長で再提案 全員賛成で可決

市は、令和2年12月定例会において、新型コロナウイルス感染症の影響により、第6次小郡市総合振興計画の策定が難しいとの理由から、第5次小郡市総合振興計画の期間を2年間延長するという提案をしました。しかし、市の最上位計画である総合振興計画は早期に策定すべきであるとの声が出され、採決の結果、賛成少数で否決となりました。

この結果を受けて、市は議会と一体となって早期に策定する必要があり、令和3年3月定例会において、第5次小郡市総合振興計画を1年間延長し、令和3年度中に第6次小郡市総合振興計画を策定するとして改めて提案しました。採決の結果、全員賛成で可決となりました。



総合振興計画は、長期的展望に基づいて、本市が目指す将来像や目標、各行政分野における施策の方向性を示す市政運営の最も基本となる計画です。

令和3年度中に策定される第6次小郡市総合振興計画については、議会としても、より良い計画となるために、しっかりと議論を重ね、市に対して提言していきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症関連補助金事業

キャッシュレスポイント還元事業

キャッシュレス決済利用時に、ポイント還元するキャンペーンを実施することにより、事業者及び利用者の双方に対して、非接触型の決済システムを普及させ、市内商店での消費喚起を図ることを目的とした事業。

【ポイント還元率】20%

【ポイント付与上限】

1回あたり1千円

1か月あたり1万円

【対象事業者】

PayPay（ペイペイ）

を取り扱える市内全業種

（大手チェーン店を含む）

【実施期間（予定）】

令和3年6月の1か月間

サプライヤー一時支援金支給事業

緊急事態宣言に伴う飲食店の時間短縮営業や、不要不急の外出、移動の自粛により影響を受け、売り上げが減少した事業者に対して一時支援金を支給し、事業継続を下支えすることを目的とした事業。

【給付額】

※次のいずれかを1回限り

・国の一時支援金を受給した

法人、個人事業者に対して

一律10万円。

・県の一時支援金を受給した

法人、個人事業者に対して

一律5万円。

新型コロナウイルス感染症拡大抑制対応マニュアルを作成

新型コロナウイルス感染症拡大抑制に向けた議員対応マニュアルについて

新型コロナウイルス感染症に関する情報を的確に把握し、議員相互の情報共有を的確に行いながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束するまでの間、議員の活動、議会運営に係る対応について定めています。

新型コロナウイルス感染症に関する 議会運営マニュアルについて

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している中、市議会議員等が感染し、又は感染の疑いがある事象が発生した場合においても円滑に議会運営が諮れるようあらかじめ基本事項を定めています。

議会基本条例について

議会基本条例とは

小郡市議会では、市民の負託に応える活発な活動を展開するため、平成22年第1回（3月）定例会において小郡市議会基本条例を制定しました。

二元代表制のもとに、小郡市の代表機関としてその役割を自覚し、意思決定機関及び行政の監視機関としての機能を十分に発揮していくためにこの条例を作成しています。主に、議会・議員の活動原則、市民参加及び市民との連携、議会と市長の関係、自由討議による合意形成等について定めているものです。

議会基本条例の検証

小郡市議会においては、基本条例第17条の（研修及び検証）の中で、この条例の目的が達成されているかどうかを、年に1回、議会運営委員会において検証することを規定しています。

令和2年度の検証においては、コロナ禍における市民意見の聴取のあり方やオンラインの活用などICT化に向けた意見が目立ちました。今後は議会活性化を更に進めていくために、条例の見直しも検討していきます。



こちらを読み込んでいただきますと、議会基本条例（説明有）をご覧いただけます。

おごおり議会だより 表紙写真を募集します!



開かれた市議会を目指し、
より市民に親しまれる市議会だよりにするために、
年4回（5月・8月・11月・2月）発行の
「おごおり議会だより」の表紙写真を募集します。
みなさまのご応募をお待ちしています。



小郡市内在住、もしくは市内でご勤務されている方、
市内に通学されている方、どなたでもご応募可能です。
市内の行事、四季の風景など記念に
議会だよりの表紙を飾ってみませんか？



テーマは「**元気!**」です!!

暗いニュースが多い昨今、明るく元気な
写真をお待ちしています!!



応募資格、応募方法、応募条件、注意事項は
小郡市議会ホームページに記載の募集要綱をご覧ください。

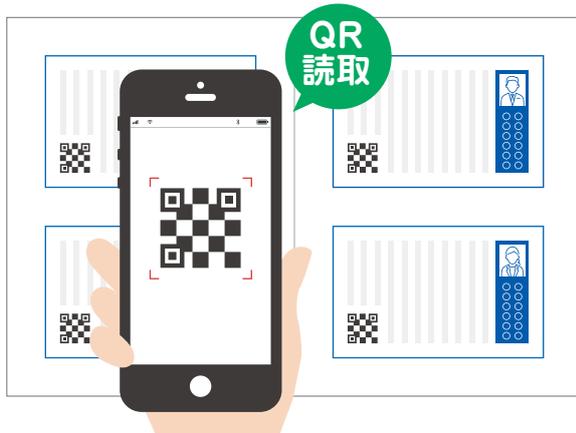
**応募いただいた写真を使った
議会だよりの表紙です**



一般質問のインターネット録画映像がスマートフォン等でもご覧いただけるようになりました!

いつでもどこでも

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、録画映像が見られます。



録画映像を見るには…

各議員の一般質問の記事の左下にある「QRコード」をスマートフォンやタブレットで読み取ると、録画映像をご覧いただくことができます。



個人質問									代表質問										
2 1	子ども宅食について コロナ禍における生活困窮者支援について	2 1	治水対策について 財政の取り組みについて	1	新型コロナウイルス感染症対策について	2 1	地域包括ケアシステムの構築について 新型コロナウイルス感染症対策について	2 1	介護保険施行20年 小郡市の現状と今後について ごみ減量化について	3 2 1	大崎ポケットパークについて 「農福連携での新型コロナウイルス生活支援」について 将軍藤小判について	1	つながるまち小郡アクションプランについて	2 1	コロナ禍 ひきこもり支援 SDGs 推進	2 1	ひとり親家庭の支援について GIGAスクール構想推進の課題について	2 1	コロナ対策事業について 12月質問の検証について
後藤 理恵	小野 壽義	田代 和誠	百瀬 光子	小坪 輝美	佐藤 源	立山 稔	田中 雅光	新原 善信	高木 良郎 <small>志成会代表</small>										

3月定例会 一般質問通告一覧表

一般質問については、議場での発言に基づき、質問者(本人)が編集しています。



高木 良郎
(志成会)

コロナ対策事業について

昨年の1月以降新型コロナウイルスの影響で、経済や市民生活が非常に厳しい状況になっています。市の取り組みの内容とその成果についてお尋ねします。

市長 国の地方創生臨時交付金を活用し、必要な時期に必要な事業を行って、地域経済の復興、新しい生活様式の継続に向けて取り組んでいます。

具体的な事業の内容とその成果についてお尋ねします。

経営政策部長 1109事業を実施していますが効果を検証する段階には至っていません。

一年以上事業を行っているから事業の成果をみて継続するか新しい事業に転換する等の判断をすべきではないですか。

経営政策部長 検証はおこなっていませんが事業の効果として感染症対策に寄与しています。

スピード感を持って対応していると言われていますが、小郡市の対応は、他の自治体と違い

国・県の事業の確定後に決定する等、対応が遅く、更に金額が少ないという状況ではありませんか。

経営政策部長 1人1人の皆さんに行き届いた支援が出来たかということに関しますと、スピード感が欠けるといってご意見もじっくり受けとめていきたいと思っています。

市は、国からの7億円の交付金を使ってコロナ対策事業を行っていますが直接市民生活を守るための事業に使って欲しいと考えますがいかがでしょうか。

経営政策部長 予算の62%は直接支援として行っています。一番困っているときにタイムリーに支援をする。それも国のお金だけでなく市のお金も使つてぜひ支援をして頂きたいと思

いますが考え方をお尋ねします。
経営政策部長 国の第3次補正約2億4千万円をつかい令和3年度に必要となるコロナ対策事業を予算計上します。その際、必要性が高いと判断した事業については、優先的に検討していきます。



新原 善信
(市民クラブ)

ひとり親家庭への子育て支援

小郡市のひとり親家庭の現状と支援についてお尋ねします。

市長 ひとり親で児童扶養手当受給者は、427世帯で、8割が年間所得200万円以下の経済的に厳しい状況です。新型コロナウイルスの影響で半数近く収入は減少し、ひとり親家庭に影響を及ぼしています。

市では、毎年、児童扶養手当受給資格者と面談し、半数近くが非正規雇用でした。国は、ひとり親世帯への支援として、特別臨時給付金を支給する見通しです。子ども総合相談センターの相談は、離婚、経済的、就労支援と多岐にわたり、第一の課題は就労支援だと感じています。市は保育所、学童入所の際ひとり親世帯の加点や保育料軽減、医療費助成などを行っています。今後も保護者の困り感に寄り添いながら、様々な関係機関との連携で、支援してまいりたいと考えています。

GIGAスクール推進には多くの課題あり

GIGAスクール構想におけるハード整備、人的・ソフト面の整備、メディアリテラシー指導、家庭での使用についてお尋ねします。

教育長 2月中旬に1人1台の端末を整備し、校内ネットワークは1月に終了しています。機器の運用、保守は、業者に委託します。また、授業活用の支援を行うICT支援員2名で学校を巡回し、ヘルプデスクを設置します。授業等では、ワープロ機能、カメラやビデオ、検索、交流アプリなどを想定しています。メディアリテラシー指導は、育成プランを基に、特にインターネットでは、自分とともに他者の人権を守ることの大切さを指導します。家庭での使用が困難な家庭には、ルーターを無償貸与し、通信費は、何らかの支援を検討しています。事前に学校で使用方法を学習した後に持ち帰らせ、その際保護者が理解するための資料を準備しています。





田中 雅光
(公明党)

ひきこもり者の支援について

コロナ禍、自粛生活が長引き、ひきこもり状態の方々へも影響が出ています、支える家族の経済的困窮や自立を目指し頑張ってきた方が再度、前の状態に戻られたり、自粛生活が起因となり、そのまま引き籠もってしまう等の影響も出ています。そこで**①実態把握**について**②相談窓口の明確化**が必要と思うが、総合相談窓口等の設置についてお尋ねします。

市民福祉部長 **①**市独自の事態調査はできていない状況ですが、コロナ禍で見合せている県の調査が次年度は実施されると考えられるので、調査を活用しながら把握に努めていきたいと思っています。**②**国の第3次補正予算の中に、重層的支援体制整備事業の実施の中に新規事業で盛り込まれていますので、総合相談窓口の設置については今後、調査研究していきます。

SDGsの推進について

このコロナ禍においてSDGsの理念である「誰一人取り残さない」ということが重要視されています。コロナ禍によって推進が低迷している部分もありますが、小郡市による取り組みを伺います**①**第6次総合振興計画への位置づけについて**②**教育現場での推進について伺います。

市長 **①**市民意識調査の結果や今後のあるべき将来像、そして本市が抱える課題などを踏まえながら、第6次総合振興計画の中にSDGsの理念に沿った内容を盛り込んでいきたいと考えています。

教育長 **②**昨年度から学習指導要領の理念そのものが持続可能な社会のつくり手を育てるということが明記されています。子どもたちが自分事として課題を捉えて、自分には何ができるかという観点で、自分たちの身の回りの生活を見直していくなど、そういった探求的な学習に進んでいくことが大事だと思っています。



立山 稔
(おごおり創志会)

つながるまち小郡
アクションプランについて

つながるまち小郡アクションプランに関して**①**事業の中で目標が達成できなかった施策について。**②**十分に目標が達成できなかった事業について。**③**新型コロナウイルスの影響が数年続くと予想される中、どのような対策を行いながら今後事業を実施されるのか考えをお聞きます。

市長 つながるまち小郡アクションプランは計画期間の最終年度となっており、各施策の目標達成状況、成果等の整理を行っています。**①**市長との対話の機会の充実については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対話集会が中止となり、目標達成とはなりませんでしたが、そういった中でも、感染予防対策を講じた上で、特定少人数での車座、出前トークを継続し、対話の機会の創出に努めました。**②**ヒト・カネの適正配置について2つの目標を掲げています。



管理職に占める女性職員の割合については、様々な取組を進め、女性の管理職が増えてきました。枠配分方式による予算編成については、予算編成に対する意識改革を図り、限られた財源を部内や課内でマネジメントし、全庁一丸となって財政健全化に向けた取組を進めています。

経営政策部長 **③**新型コロナウイルス感染症の影響が、まだ不明な状況ですが、3密回避による感染予防対策をしっかりと行います。事業内容によっては会場の分散や回数の見直しを行います。その、状況次第ではアンケート方式、オンライン方式等、非対面・非接触型の方法を検討することも含め、様々な事業に対する対策をしっかりと講じながら実施する必要があると考えています。



佐藤 源
(おごおり創志会)

大崎ポケットパークについて

大崎ポケットパーク及び隣接している駐車場の活用状況についてお尋ねします。また、敷地内にトイレがあり、市が48万9千円をリース料として支出しています。そのトイレの管理はどことがされているのでしょうか。

市長 大崎ポケットパークは、地区内新規住民と周辺地区営農者の交流促進施設を誘導し、地域間の交流活動の活性化を図ることを目標としています。この目標を基に、農産物直売所宝満の市を誘導、地域活性化を図っています。大崎ポケットパークと駐車場の土地は、全て市の所有物です。建物は宝満の市が所有権を持っています。
環境経済部長 土地については行政財産の目的外使用で使用許可を出しており、使用料は、免除の規定を適用しています。トイレのリース契約は、市で行っており、管理は、使用許可の条件の中で、宝満の市に管理をお

願っています。
「農福連携での新型コロナ生活支援」について

「農福連携での新型コロナ生活支援」事業の実績についてお尋ねします。

市長 昨年末、大崎ポケットパークでまごころマルシェを開催し、隣接する宝満の市と一体的なマーケットを共同開催しました。対象者は社会福祉協議会の緊急小口資金、総合支援資金の申請者、住居確保給付金決定者、ひとり親世帯で新型コロナウイルスの影響で減収となられた世帯で、1世帯3千円の買い物チケットを助成しました。対象者493人の内、236人にご利用いただきました。1月末まで利用期間を拡大したことにより、自立支援協議会の事業所で、お買い物いただき、地域の中の障害福祉事業所を知ってもらった機会になりました。



小坪 輝美
(日本共産党)

介護保険施行20年、小郡市の現状と今後について

介護保険施行20年にあたり小郡市の現状と今後についてお尋ねします。

市長 介護保険費用は当初の2.5倍に増えていますが、一人当たりの費用額は全国・県平均に比べ大きく下回っています。保険料も1.6倍に増加していますが、第8期の保険料を据え置き(基準月額5010円)、福岡県の中では、低い保険料水準を保っています。今後は、要介護状態になっても、住み慣れた地域で自立した日常生活の支援が、包括的に確保される体制を、市の実情に応じて推進していく取組が求められています。人生100年時代、高齢者が元気に楽しく過ごせる地域を目指して、地域や人を結びつける仕組みづくりを支援していきたいと考えています。

介護サービスを受ける際には、利用料が求められます。現状は、

経済格差が介護格差になつていくように思います。経済的な理由で必要なサービスの利用を控えているような方への対応についてお尋ねします。

市民福祉部長 生活困窮等により、必要なサービスが受けられない方については、生活保護や社会福祉協議会、社会福祉法人、シルバー人材センター等、地域資源や様々な制度及び支援につなげていきます。施設入所者については、施設変更等負担を軽減するための助言や支援等を行っています。

介護人材の確保が大きな問題になっています。介護職の賃金アップと専門性を発揮できる職場環境等の処遇改善が必要だと思います。市としては、人材確保のためにどのような取組をされるのかお尋ねします。

市民福祉部長 介護職の資格取得への助成等を検討していきま

す。県とも連携しながら、介護人材に資する支援にも取り組んでいきます





百瀬 光子
(公明党)

地域における高齢者支援

2025年以降には後期高齢者人口がピークになり、介護が必要な方が増加する中で介護職が減少することが予想されます。高齢者支援は公的支援だけでは困難であり、地域の支え合い、共助・互助の仕組み作りが重要になります。そこで、①地域包括支援センターの取り組みについて②生活支援コーディネーターと協議体について③①と②の連携についてお尋ねします。

市長①令和2年度から3つの日常生活圏域に民間委託による地域包括支援センターを設置しました。それにより、総合相談の件数は2倍以上に増え、多くの事例にきめ細やかな対応が出来るようになりました。②地域の生活課題を抽出し、必要な施策を推進していきます。令和3年度より、社協に専任の生活支援コーディネーター1名を配置し、コミセン職員は地域支え合い推進員の役目を担うようにし

ます。

市民福祉部長③個別支援が得意な地域包括支援センターと豊富な地域資源に造詣が深いコミセンが連携して多彩な取り組みを展開し、高齢者の方々にとって住みよいまちづくりを進めていきたいと考えています。

新型コロナウイルスワクチン接種について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として大きな効果が期待されるワクチン接種が始まりました。そこで、①接種体制の確保について②市民に対する情報提供についてお尋ねします。

市長①小郡市新型コロナウイルスワクチン接種実施対策本部を立ち上げ、全庁的に取り組んでいます。平日と土曜日は、市内の医療機関での個別接種を行い、日曜日は、あすてらすで集団接種を実施予定です。②接種券を発送する際に、具体的な接種の方法や副反応への対応等の文書を同封します。また、コールセンターを開設し、ホームページにQ&Aも記載しています。



田代 和誠
(志成会)

充分なコロナ対策を！

新型コロナウイルス感染症対策の地方創生臨時交付金について、必要な時期に必要な事業に使うと再三答弁をされてきましたが、1億円近く執行残が出ています。それは、1次交付金の検証が十分にできていないまま、2次交付金を受けたのが原因で、検証されないまま3次交付金に向かうことは、同じ事の繰り返しにならないかと危惧しています。検証の状況をお尋ねします。

経営政策部長①全体的な検証の時期については、まだ明確に現時点ではお答えできない状況です。令和3年度に実施する事業については、令和3年度補正予算も含めたそれぞれの段階での事業予算の計上ということになります。令和2年度に行った事業の検証を令和3年度の事業にしっかりと生かしていきたいと考えています。

令和2年9月、12月議会でも新型コロナウイルス感染症の感染者が

私立保育園で出た場合の対応について確認しました。現在、シミュレーションができていますかについてお尋ねします。

子ども・健康部長①新型コロナウイルス感染者が発生した際のフローチャートを作成しており、前回、教育体制の整え方について協議中の段階でしたが、今回、小郡市保育協会の協力確認が取れました。それにより、市内の保育園間で職員を派遣し合うなど、保育現場の具体的な対策ができるようになりました。

Pay Payのポイントバックに3千万円使うよりも、収入の減った若い世代に対して直接的支援として、水路の掃除や草刈など管理に困っている所に若い力を活用することを提案します。

市長①準備のことを考えると、緊急性のある対策を行う中では難しいというのが正直な感想です。





小野 壽義
(おごおり創志会)

治水対策について

① 福童地区は毎年水害を受けています。宝満川の水位が上昇することで内水氾濫を起こします。市全域の流域治水や治水対策について② 仮称味坂スマートIC建設や周辺に進出する企業の治水対策についてお尋ねします。

市長① 地域強化計画の策定の中で、国の進める流域治水の施策と連携して内水氾濫の治水対策や浸水被害の減災に重点的に取り組み、災害に強いまちづくりを実現していきます。

都市建設部長① 内水氾濫の状況を把握するため、対象エリアの浸水範囲や深さなどの調査を行い、内水対策にどのような施設が必要か九州産業大学に調査を依頼しています。② 都市計画マスタープランで仮称味坂スマートIC周辺は産業系土地利用を進める地域と位置づけられています。開発行為は、県の基準で調整池設置の義務が生じます。

す。また、進出企業と治水対策等の防災協定を締結し、調整池の規模等決定する必要があると考えます。

財政の取り組みについて

① 緊急財政対策計画について② ふるさと納税と地方交付税、法人市民税と地方交付税について③ 民間委託、民間活力導入による経費削減について④ 国勢調査についてお尋ねします。

市長② ふるさと納税は寄付金に当たするため、交付税の削減対象とはなりません。しかし、法人市民税に関わらず市民税、固定資産税等は普通交付税の基準財政収入額に加算され交付税が減少することになります。

経営政策部長① 令和3年度の予算編成は計画に定めた削減目標を達成できています。今後も庁内一丸となり財政健全化に取り組みます。③ 市内31高圧電力受電施設の電力入札で6600万円、学校給食民営化で1千万円の経費削減ができています。

④ 増減率は前回と比較して国勢調査人口約2.5%増になっていきます。



後藤 理恵
(志成会)

子ども宅食について

新型コロナウイルス感染症の影響により、親の鬱や精神障害、ストレスや不安、失業等による経済不安はいずれも虐待に至る恐れのある要因とされています。これには早急な対策が必要です。考えています。また、様々な理由により、必要な相談や支援などのサービスを受けられていない方も多くいます。そこで民間の力を活用し、自然な形で家庭と関わりをつくり、必要な支援につなげていくことが出来るアウトリーチ型の子ども宅食を実施することについて本市の見解をお尋ねします。

市長① 子ども宅食とは、経済的に困窮する家庭の子ども向けに食料や日用品を無償で宅配し、定期的に家庭の状況を知ること、リスクの芽を感じし、必要な支援、社会とのつながりをつくることのできるアウトリーチ型の支援として注目をされています。今後コロナ禍においてどのような成果を上げることが出来るのか、他自治体の状況を注視していきたいと思えます。

生活困窮者支援について

新型コロナウイルスの感染拡大による雇用や生活への影響が深刻になっていきます。去年1年間の平均の完全失業率は2.8%、前の年より悪化したのは、リーマン・ショック以来です。特に非正規雇用と女性は大きな打撃を受けています。単なる経済的な貧困ではなく、困窮者を取り巻く環境が厳しい中において、支援策についてお尋ねします。

市長① 一人ひとりの困窮状態に寄り添い、困窮者が何を必要としているのか、そして誰を必要としているのかに向き合い、共に悩み、共に歩む伴走型支援を基本とした生活困窮者自立支援事業、生活保護でのケアを行っていくことで、困窮者自らが生きることが出来る支援としていくことが不可欠であると考えています。



常任委員会 審査報告

総務文教常任委員会報告

総務文教常任委員会は、3月8日に開催され、付託を受けた執行部提出案件9件の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

令和2年度小郡市一般会計補正予算(第13号)の承認について(議案第15号)

小学校の学校再開等支援事業補助金920万円及び中学校の学校再開等支援事業補助金560万円の増額補正は、1月に国の学校保健特別対策事業費補助金の追加連絡があり今回補正で増額し、全額繰越すものです。事業費の2分の1が補助されます。

問：こういったものを使うことができませんか。

答：学校の裁量で必要なものを迅速に購入したり、対応できるようにしています。サーキュレーターや加湿器などの購入、学校現場では消毒作業を引き続き行っていますので消毒液の購入、また、学校によっては夏に窓を開けて

授業ができるように網戸の設置などを想定しています。

保健福祉常任委員会報告

保健福祉常任委員会は、3月9日に開催され、付託を受けた執行部提出案件14件の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

令和2年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算(介護サービス事業勘定)(第1号)の承認について(議案第18号)

市が指定居宅サービスを行う場合は、介護サービス事業勘定を区分する必要がありますが、令和2年4月より、ケアプランの作成も全て民間委託の地域包括支援センターが担っており、その必要性がなくなつたため、特別会計を廃止する予定としています。そのため、本特別会計による余剰金868万8千円を一般会計に繰り出すものです。

問：繰り出したあとは、どういう扱いになりますか。

答：3か所の地域包括支援センターの委託料が6千万円ほどありますが、その中で市負担分が1千万円以上あります。そちらに充当する考えです。

都市経済常任委員会報告

都市経済常任委員会は、3月10日に開催され、付託を受けた執行部提出案件5件の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

令和2年度小郡市一般会計補正予算(第14号)の承認について(議案第29号)

キャッシュレス決済キャンペーン業務委託料3334万円の増額補正は、PayPayのキャッシュレス決済利用時にポイント還元するキャンペーンを実施することにより、事業者及び利用者双方に対し、非接触型の決済システムを普及させると共に、市内商店の消費喚起を図ることを目的としています。ポイント還元率は20%で、ポイント付与上限は1回あたり1千円、1か月あたり1万円までとし、実施期間は1か月で、対象はPayPayを取り扱える大手チェーン店を含む市内全事業者です。

問：キャンペーンに対する問い合わせ等はどこが対応しますか。

答：市民用と事業者用のコールセンターをPayPayに

設置していただくようお願いしています

議案の主な内容

★**専決処分を報告し、承認を求めることについて**

(令和2年度小郡市一般会計補正予算(第12号))

(報告第1号)

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金1419万4千円の増額は、ワクチン接種体制を確保するための経費に充てる国庫補助金で、補助率は100%です。

★**福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の増加及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について**

(議案第1号)

令和3年4月1日から田川地区広域環境衛生施設組合が新規設置され組合に加入することに伴い、組合を組織する地方公共団体の数を増やし、規約を変更するものです。

★**特別職の職員で常勤のものとの給与、旅費及び退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

(議案第2号)

令和2年1月1日から令和3年3月31日までの間、市長給与を10%、副市長及び教育長の給与を4%減額していましたが、引き続き、令和3年4月1日から令和3年5月14日までの間、減額するものです。

★**特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

(議案第3号)

改正の1点目は、部落差別撤廃・人権擁護審議会委員に識見を有する者を追加。2点目は、区長については令和3年4月から私人と位置づけることになったため、区長に関する規定を削除。3点目は、農業委員会会長、会長代理、委員のそれぞれの報酬額の項目に実績額を追加するものです。

★**小郡市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の制定について(議案第4号)**

研修室や会議室等への新たなコイン式エアコンの設置に伴い、施設使用料に変更が生じるため、条例を改正するものです。

★**小郡市手数料条例の一部を**

改正する条例の制定について(議案第5号)

デジタル手続法が施行され、個人番号の通知カードが廃止されたことに伴い、条例を改正するものです。

★小郡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について(議案第6号)

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、新型コロナウイルス感染症の定義が変更されたことから、条例を改正するものです。

★小郡市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について(議案第7号)

令和3から5年度までの第8期介護保険基本計画策定の確定に伴う計画期間中の介護保険料の所得段階・範囲の見直し等について定めるために条例を改正するものです。

★小郡市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(議案第8号)

国の指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。

★小郡市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(議案第9号)

国の指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。

★小郡市指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第10号)

国の指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。

★小郡市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第11号)

国の指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。

★小郡市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について(議案第12号)

3地区の地域包括支援センターを民間委託により設置し、市直営の地域包括支援センターでは介護予防指定事業所としての事業の実施がなくなつたため、介護保険事業特別会計介護サービス事業を廃止することに伴い、条例を改正するものです。

★小郡市農業農村整備事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について(議案第13号)

経営体育成基盤整備事業の実施に伴い、農業農村整備事業分担金算定表へ当該事業を位置づけ、事業経費に100分の10を乗じて得た額を、受益者から分担金として徴収するよう条例を改正するものです。

★久留米広域ふるさと振興基金の分配に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について(議案第14号)

久留米広域ふるさと振興基金の設置及び管理に関する条例の廃止に伴い、久留米広域市町村圏事務組合の構成自治体に対して分配される債券を基金として積み立てるため、関係条例を整理するものです。

★令和2年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)の承認について(議案第16号)

一般会計繰入金金の確定に伴う歳入の整理と、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた保健事業の整理等をするものです。

★令和2年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算(介護保険事業勘定)(第4号)の承認について(議案第17号)

介護サービス等諸費から特定入所者介護サービス等費までについては、令和2年4月から11月までの給付実績をもとに、本年度の決算見込みを行い、1010万円を増額するものです。

★令和2年度小郡市下水道事業会計補正予算(第2号)の承認について(議案第19号)

福岡県の下水道事業が令和2年度から地方公営企業法の一部を適用したことに伴い、令和元年度末時点で剰余金として留保されている筑後川中流右岸流域下水道事業維持管理負担金の累積黒字分を、流域構成市町に対し全額返還することとなったため、特別利益を増額補正するものです。

★市道の認定、廃止及び路線変更について(議案第27号)

道路法第8条第2項、及び第10条第3項規定に基づき、新規で認定する路線が10路線、廃止する路線が1路線、変更する路線が5路線です。

★第5次小郡市総合振興計画の変更について(議案第28号)

令和2年度で終了となる第5次小郡市総合振興計画の計画期間を1年間延長し、令和3年度までに変更するものです。

★令和2年度小郡市一般会計補正予算(第15号)の承認について(議案第30号)

福岡県知事の辞職に伴い、3月25日告示、4月11日投票の日程で福岡県知事選挙が予定されているため、必要な経費を予算化するものです。

令和3年3月定例会 議案審議結果一覧

議案番号	事 件 名	審議結果
報告第1号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (令和2年度小郡市一般会計補正予算(第12号))	承認
第1号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更について	可決
第2号	特別職の職員で常勤のものとの給与、旅費及び退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第3号	特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第4号	小郡市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第5号	小郡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第6号	小郡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第7号	小郡市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第8号	小郡市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第9号	小郡市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第10号	小郡市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第11号	小郡市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第12号	小郡市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第13号	小郡市農業農村整備事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第14号	久留米広域ふるさと振興基金の分配に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
第15号	令和2年度小郡市一般会計補正予算(第13号)の承認について	可決
第16号	令和2年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)の承認について	可決
第17号	令和2年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算(介護保険事業勘定)(第4号)の承認について	可決
第18号	令和2年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算(介護サービス事業勘定)(第1号)の承認について	可決
第19号	令和2年度小郡市下水道事業会計補正予算(第2号)の承認について	可決
第20号	令和3年度小郡市一般会計予算の承認について	可決

第21号	令和3年度小郡市国民健康保険事業特別会計予算の承認について	可 決
第22号	令和3年度小郡市後期高齢者医療特別会計予算の承認について	可 決
第23号	令和3年度小郡市介護保険事業特別会計予算(介護保険事業勘定)の承認について	可 決
第24号	令和3年度小郡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算の承認について	可 決
第25号	令和3年度小郡市工業団地整備事業特別会計予算の承認について	可 決
第26号	令和3年度小郡市下水道事業会計予算の承認について	可 決
第27号	市道の認定、廃止及び路線変更について	可 決
第28号	第5次小郡市総合振興計画の変更について	可 決
第29号	令和2年度小郡市一般会計補正予算(第14号)の承認について	可 決
第30号	令和2年度小郡市一般会計補正予算(第15号)の承認について	可 決
同意第1号	公平委員会委員の選任について(右田喜章氏)	同 意
同意第2号	公平委員会委員の選任について(吉住知城氏)	同 意
同意第3号	公平委員会委員の選任について(角倉潔氏)	同 意
同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について(橋本竹利氏)	同 意
同意第5号	固定資産評価審査委員会委員の選任について(藤岡廣子氏)	同 意
同意第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任について(丸山知英氏)	同 意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について(有川政次氏)	同 意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について(寺松明美氏)	同 意
議員提出 第1号	小郡市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
委員会提出 第1号	小郡市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可 決
選 挙	選挙管理委員及び補充員の選挙について	当 選

賛否が分かれた案件

●議長(入江和隆)は表決に参加しません。

議 員 名	佐藤源	深川博英	小坪輝美	小野壽義	高木良郎	大場美紀	立山稔	後藤理恵	古賀敏彦	田代和誠	百瀬光子	田中雅光	新原善信	井上勝彦	山田忠	廣瀬勝栄	佐々木益雄
議案第10号			×														
議案第11号			×														
議案第20号			×														
議案第29号			×														

人事案件

〔公平委員会委員〕

小郡市三沢 右田 喜章
久留米市大善寺町宮本 吉住 知城

久留米市西町 角倉 潔

〔固定資産評価委員会委員〕

小郡市大保 橋本 竹利
久留米市津福今町 藤岡 廣子

久留米市本山 丸山 知英

〔人権擁護委員候補者〕

小郡市小郡 有川 政次
小郡市山隈 寺松 明美

本会議・常任委員会の
インターネット中継が
ご覧いただけます。

小郡市議会のホーム
ページから、本会議（過
去5年間）及び常任委員
会の生中継・録画映像が
ご覧いただけます。



小郡市議会会議録が
ご覧いただけます。

小郡市のホームページ
から、平成18年5月以降
の市議会会議録をご覧
いただけます。
なお、令和3年3月定
例会の会議録は、6月上
旬頃よりご覧いただけ
る予定です。

6月定例会の会期日程(予定)

6月7日(月)	本会議(議案上程)
6月10日(木)	本会議(質疑)
6月14日(月)	総務文教常任委員会
6月15日(火)	保健福祉常任委員会
6月16日(水)	都市経済常任委員会
6月21日(月)	本会議(一般質問)
6月22日(火)	本会議(一般質問)
6月23日(水)	本会議(一般質問(予備日))
6月25日(金)	本会議 (委員長報告と質疑・討論・採決)

議会の傍聴について

新型コロナウイルス感
染症拡大防止のため、当
面の間、インターネット
によるライブ中継及び録
画中継の視聴を推奨して
おります。

なお、傍聴される場合
は、サージカルマスクの
着用と手指消毒の徹底及
び間隔を空けた着席への
ご協力をお願いしており
ます。

また、当面の間、受付
時に検温を実施させてい
ただき、37・5℃以上の
発熱がある方や体調がす
ぐれない方等の傍聴はお
断りさせていただいてお
ります。

皆様のご理解とご協力
をよろしくお願いいたし
ます。



編集後記

今年度予算は4月に市長選
が行われる関係で骨格予算と
なり、暫定的な予算編成で骨
格予算としては過去最高の2
07億5千万円となりました。

6月議会では、どなたが市
長に就任されても、国や県の
支援策を待つのではなく、小
郡市独自のスピーディーな施
策を打ち出していただき、新
型コロナウイルス感染症の影
響により疲弊した地域経済を
しっかりと支え、市民1人1
人に寄り添った予算編成を
行っていたきたいものです。

未だ新型コロナウイルス感
染症の終息が見えない中で、
大きな不安を抱えておられる
方々が、安心して元の生活を
1日でも早く取り戻せるよう
に、市執行部・職員と共に議
員一丸となって取り組んでま
います。(深川博英)

議会広報特別委員会

- 委員長 廣瀬 勝栄
- 副委員長 大場 美紀
- 委員 佐藤 源
- 委員 深川 博英
- 委員 小野 義誠
- 委員 田代 和誠